

マイクロソフト社のOutlook 2013 の設定方法(受信：POP)をご案内いたします。

✳ Outlook 2013 メール設定方法

- [アカウント作成方法](#)(送信：587番ポート / 受信：POP)
- [SMTP25番ポートの設定方法](#)
- [POP over SSLの設定方法](#)
- [SMTP over SSLの設定方法](#)

※CentOS 7系のビジネス・パーソナルシリーズのサーバーを利用している方と、CentOS6/5系の専用サーバー / マネージドVPSでIMAPオプションを利用している方でIMAPの使用をご希望の場合はIMAPの設定方法をご確認ください。

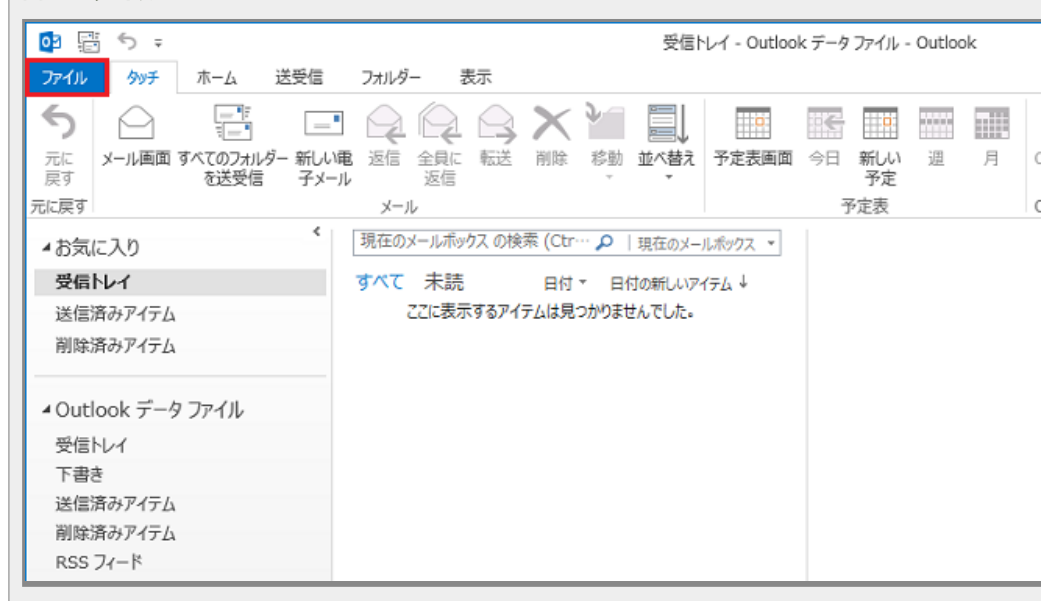
※Outlook 2013 は「APOP」には対応しておりません。Cent OS5系のビジネス・パーソナルシリーズのサーバーを利用している方でIMAPオプションご利用者以外は、ユーザーページ：パスワードの設定でAPOPの設定ができますが、APOPを「利用する」に変更されている方は、「利用しない」ように切り替えてください。

✳ Outlook 2013 アカウント作成方法(送信：587番 / 受信：POP)

■ 1. アカウント情報画面を開きます。

Outlook2013 を起動し、「ファイル」をクリックします。

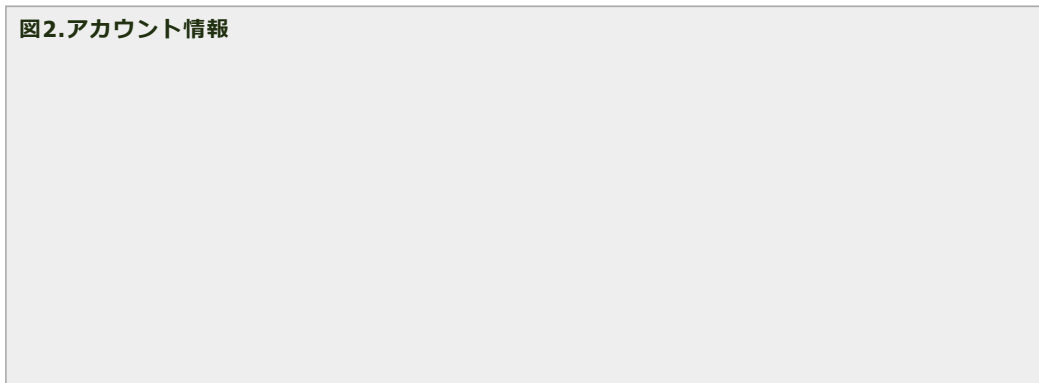
図1.ファイルメニュー



■ 2. アカウントの追加を選択します。

「情報」→「アカウントの追加」をクリックします。

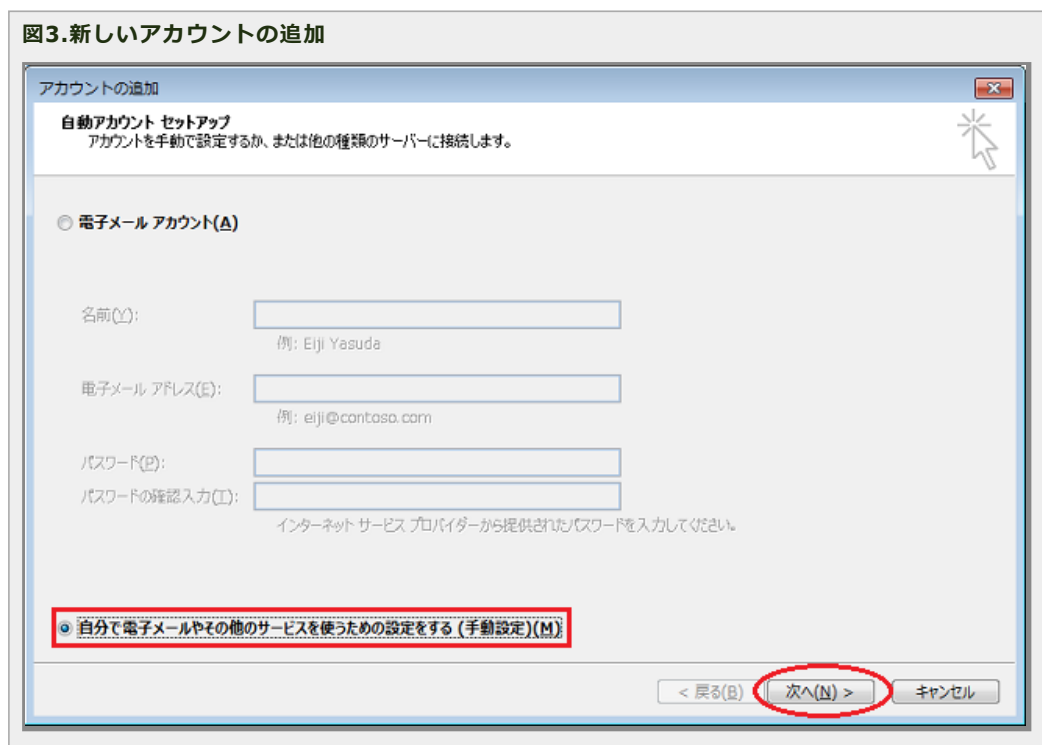
図2.アカウント情報





■ 3. 自動アカウントセットアップ方法を選択します。

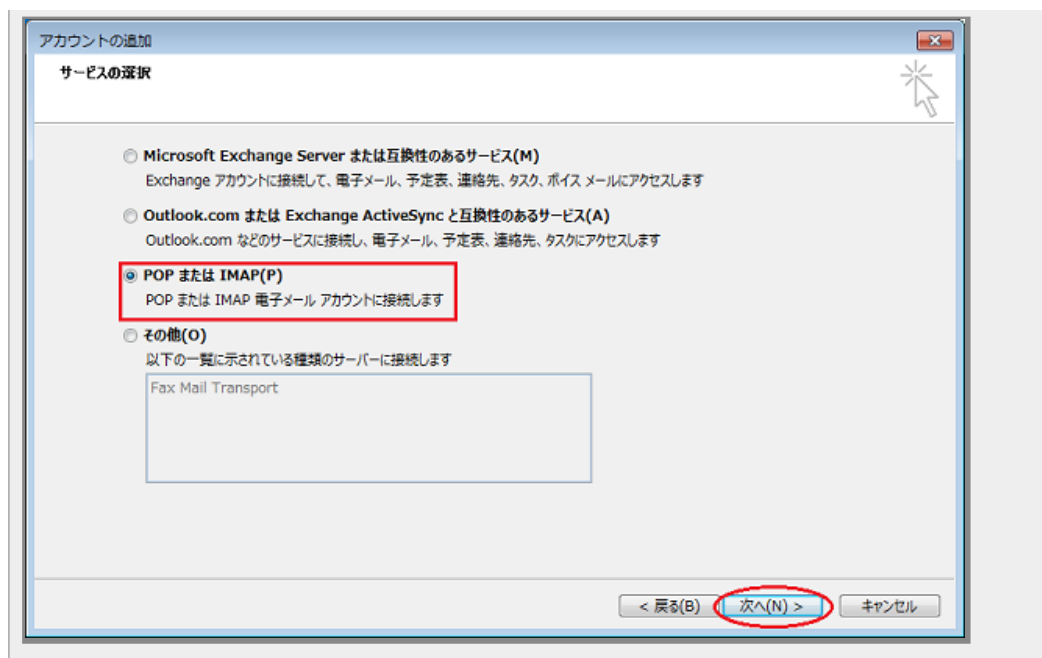
「自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする（手動設定）」をチェックし、「次へ」をクリックします。



■ 4. サービスの選択をします。

「POPまたはIMAP」をチェックし、「次へ」をクリックします。

図4.電子メールアカウント



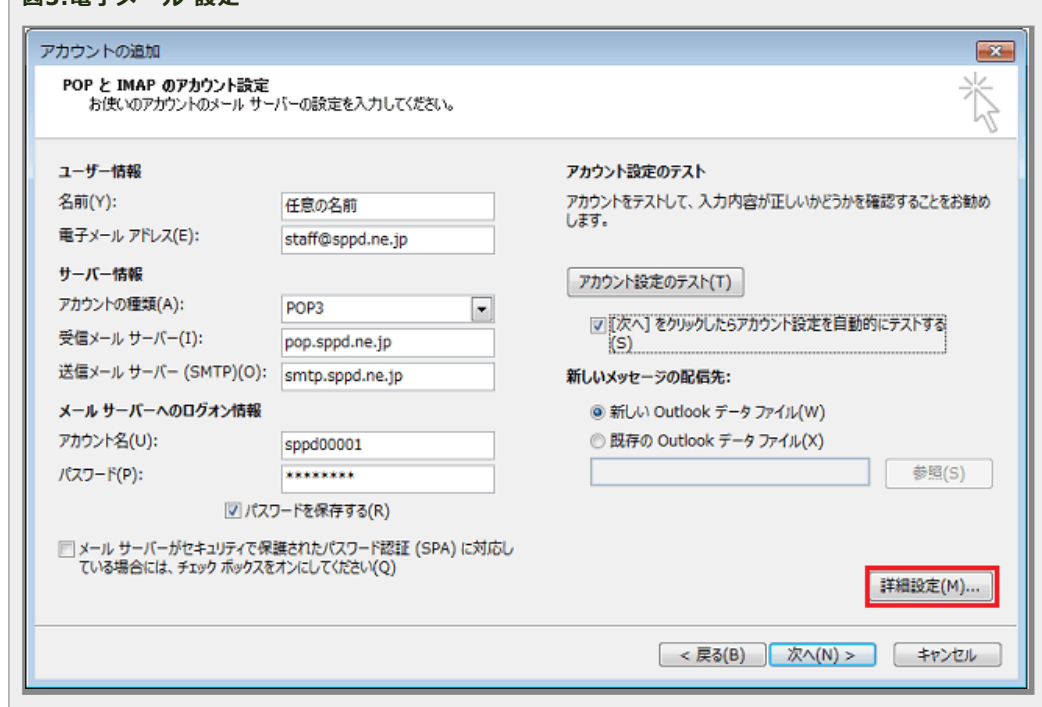
■ 5. 設定内容を入力します。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、各項目を入力し、「詳細設定」をクリックします。

※ 入力項目の詳細は「レンタルサーバー登録通知書」でご確認ください。

- 名前：任意の名前
- 電子メールアドレス：ご利用になるメールアドレス
- アカウントの種類：POP3を選択
- 受信メールサーバー：「レンタルサーバー登録通知書」に記載されているPOP3サーバー名
- 送信メールサーバー：「レンタルサーバー登録通知書」に記載されているSMTPサーバー名
- アカウント名：メールアドレスのユーザーID
- パスワード：各ユーザーのパスワード
- パスワードを保存する：チェックを入れる
- [次へ]をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする：チェックを入れる

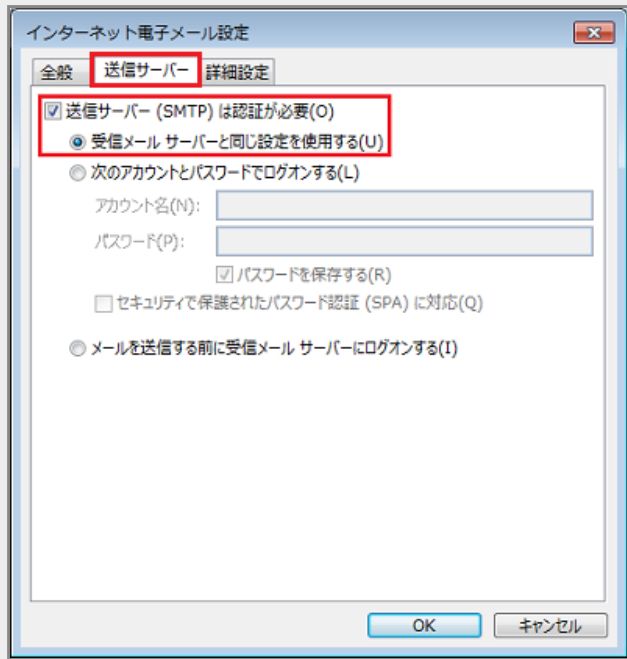
図5.電子メール 設定



■ 6. 送信サーバーの設定を行います。

「送信サーバー」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)は認証が必要」「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」にそれぞれチェックを入れます。

図6.送信サーバー設定



■ 7. サーバーのポート番号の設定を行います。

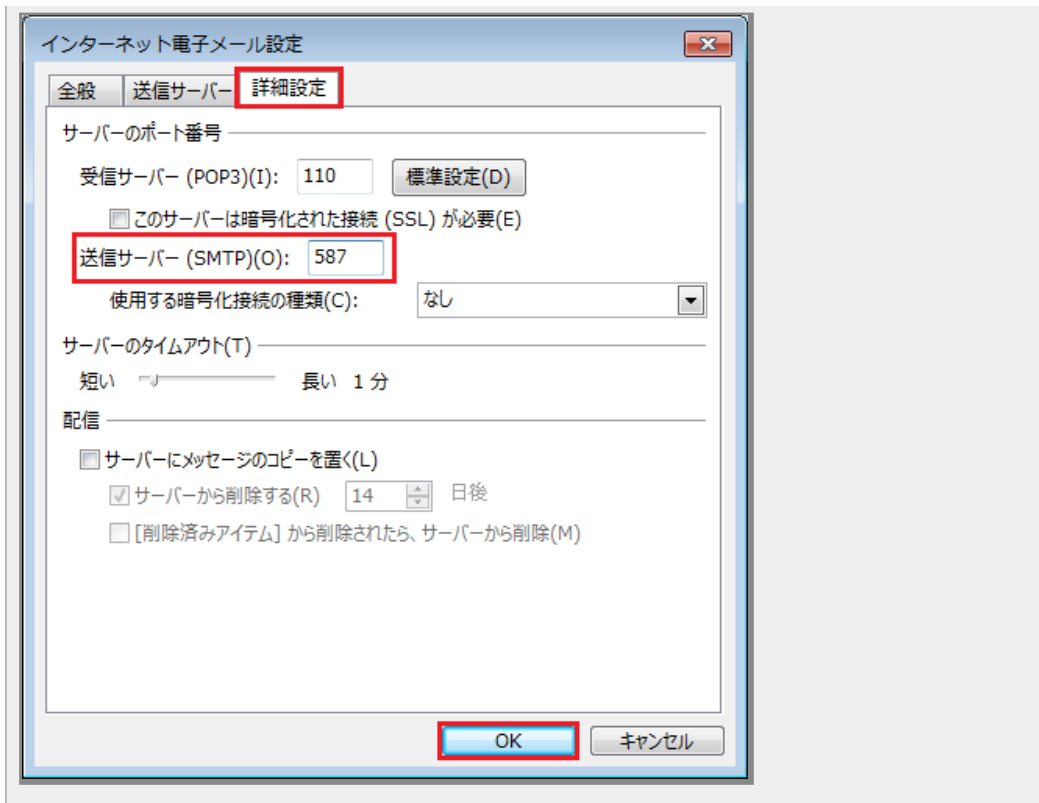
国内の主なプロバイダが採用しております「ポート25ブロック」により、メールの送信が行えない場合がありますので、メール送信ポートを標準の25番ポートからサブミッションポート(587番ポート)に変更してください。また、メールの送信時にもパスワードが必要な「SMTP認証(SMTPAUTHとも言います)」の設定を行う必要があります。

※ 「ポート25ブロック」を行われていないプロバイダのプランをご利用の方は、サブミッションポートの設定を行わなくても構いません。詳しくは、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

「詳細設定」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)」を「25」→「587」に変更します。入力が終わりましたら「OK」をクリックし、「インターネット電子メール設定」の画面を閉じます。

※ 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。

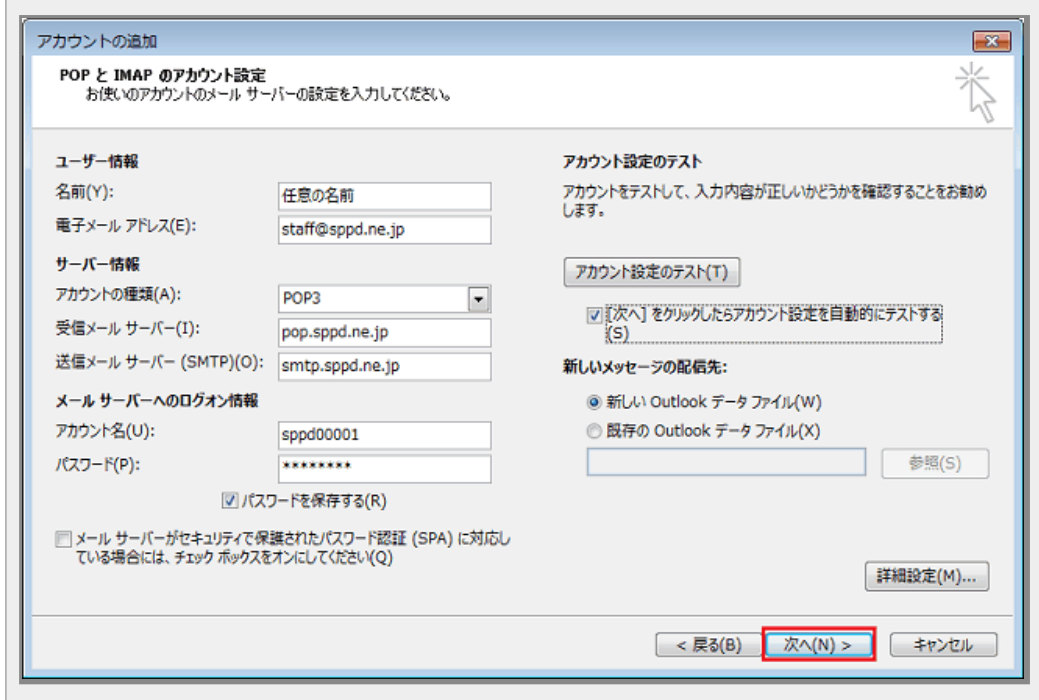
図7.詳細設定



■ 8. アカウント設定の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

図8.アカウントの変更

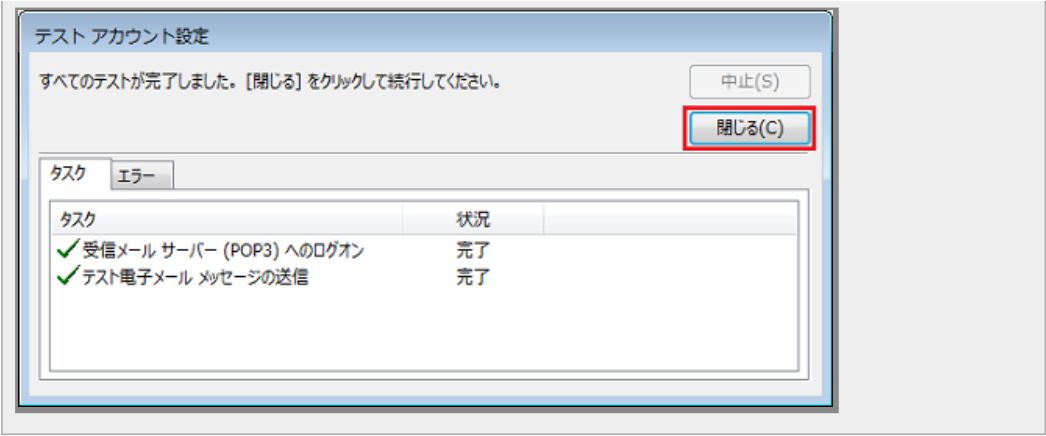


■ 9. 設定したアカウントのテストをします。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストされます。「受信メールサーバー（POP3）へのログイン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら正常にアカウントは設定されております。

「閉じる」をクリックしてください。

図9.テストアカウント設定



※ 状況が「失敗」になる場合は下記のエラー文が表示されます。設定項目を確認し入力しなおしてください。

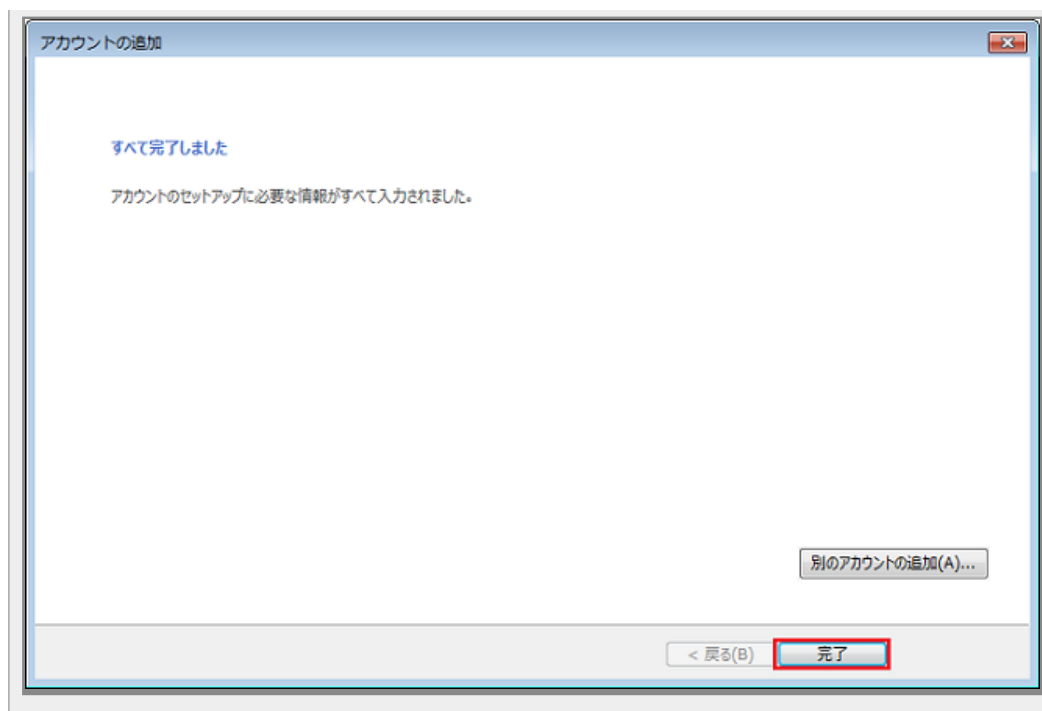
エラー一覧	
エラー文	対処方法
電子メールサーバーが見つかりません。アカウントのプロパティでサーバー情報を確認してください。	設定した受信・送信メールサーバー名を確認してください。
電子メールサーバーがログインを拒否しました。 [アカウント設定]でこのアカウントのユーザー名とパスワードを確認してください。	設定したアカウント名、パスワードを確認してください。
サーバーが応答しました：550 5.1.1	設定した電子メールアドレスを確認してください。
サーバーが応答しました：554 5.7.1	「6. 送信サーバーの設定を行います。」を確認して、「送信サーバー(SMTP)は認証が必要」「受信メールサーバーと同じ設定を使用する」にそれぞれチェックが入っているか確認してください。
受信（または送信）メールサーバーに接続できません。 このメッセージを引き続き受信する場合は、サーバー管理者かインターネットサービスプロバイダー（ISP）に問い合わせてください。	受信（または送信）メールサーバーのポート番号を確認してください。

■ 10. 以上でアカウント設定は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。



図10.アカウントの作成完了



★ SMTP 25 番ポートの設定方法

サブミッションポートを使用せず、25番ポートを利用する場合の設定方法です。

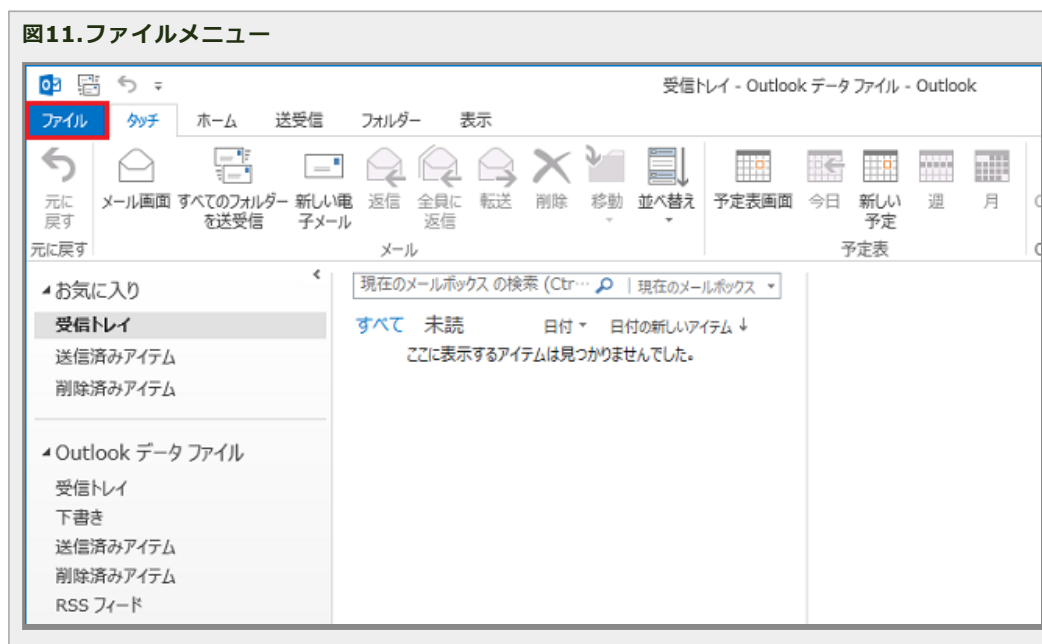
※ ご利用のプロバイダで「ポート25ブロック」が利用されていないことを確認し、設定を行ってください。

【25番ポートでメールを送信する場合のご注意】

POP before SMTP 機能により、25番ポートでメールを送信する場合は、あらかじめ「受信」を行う必要があります。Outlook 2013では「受信」のみのボタンがないものもありますので、その場合は、[送受信]ボタンを押します。[送受信]ボタンを押すと、最初の1度目は必ず「送信」がエラーとなります。ただし「受信」は正常に完了しているので、このあともう一度 [送受信]ボタンを押す事で、正常に「送信」が行われます。

■ 1. インターネットアカウント画面を開きます。

Outlook2013 を起動し、「ファイル」をクリックします。



■ 2. アカウント情報画面を開きます。

「情報」→「アカウント設定」をクリックすると下に選択項目が表示されますので、「アカウント設定(A).....」をクリックします。

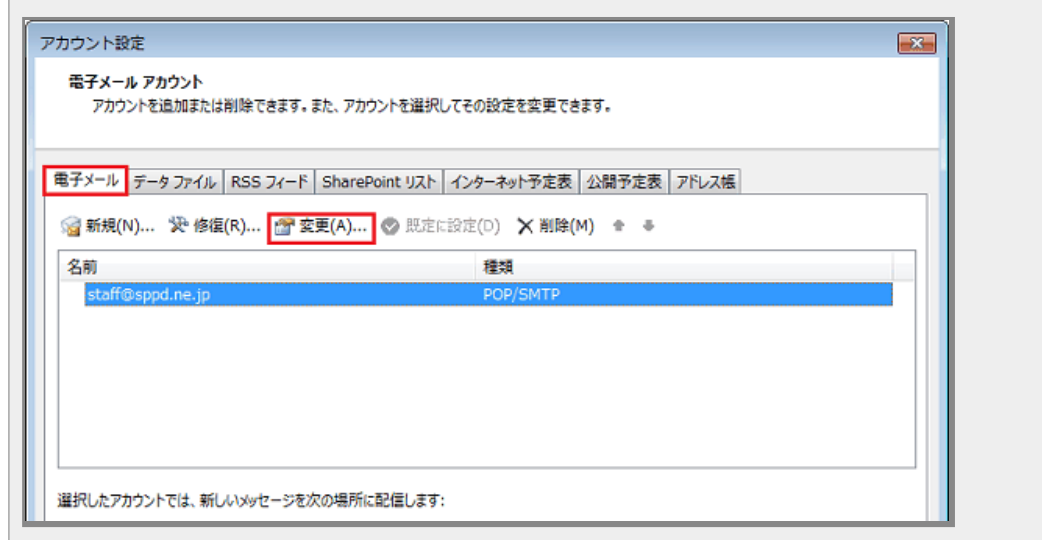
図12.アカウント情報



■ 3. 設定変更するアカウントを選択します。

「アカウント設定」の画面が表示されたら、「電子メール」タブをクリックし、設定変更を行いたいアカウントを選択し、「変更」をクリックします。

図13.アカウント設定



■ 4. 設定内容を確認します。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、「詳細設定」ボタンをクリックします。

図14.電子メール設定

■ 5. 送信サーバーの設定。

「送信サーバー」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)は認証が必要」のチェックを外します。

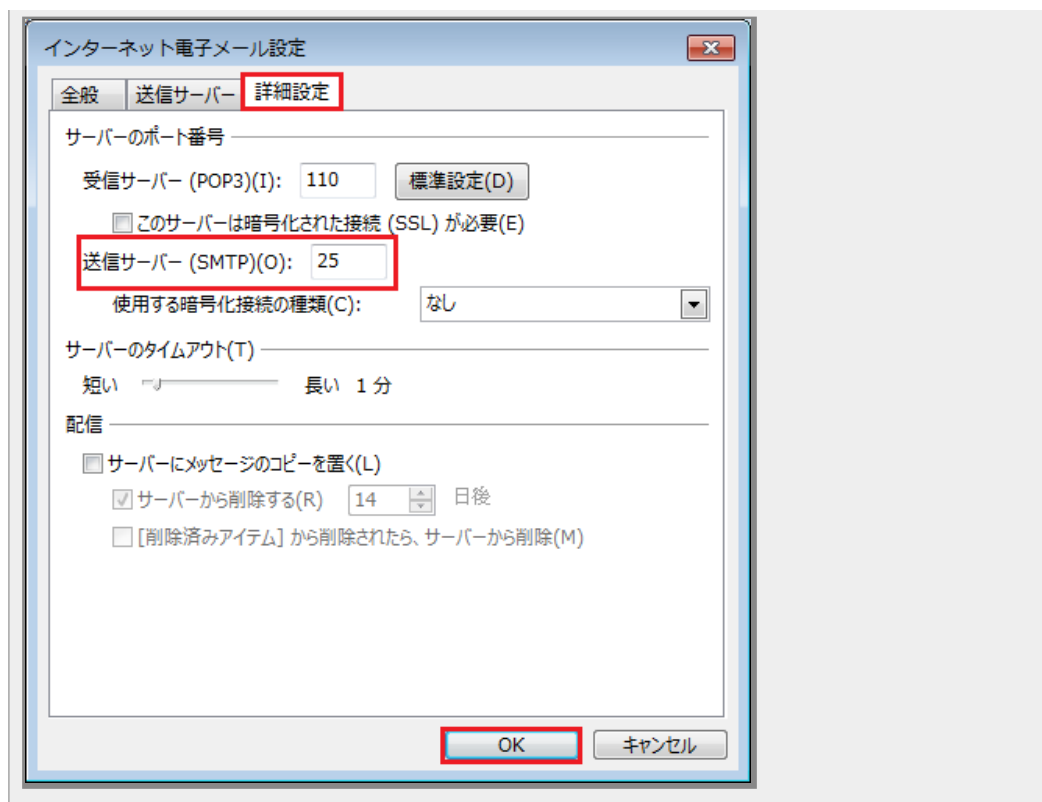
図15.送信サーバーの設定

■ 6. サーバーのポート番号の設定を行います。

「詳細設定」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)」を「587」→「25」に変更します。入力が終わりましたら「OK」をクリックし、「インターネット電子メール設定」の画面を閉じます。

※ 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。

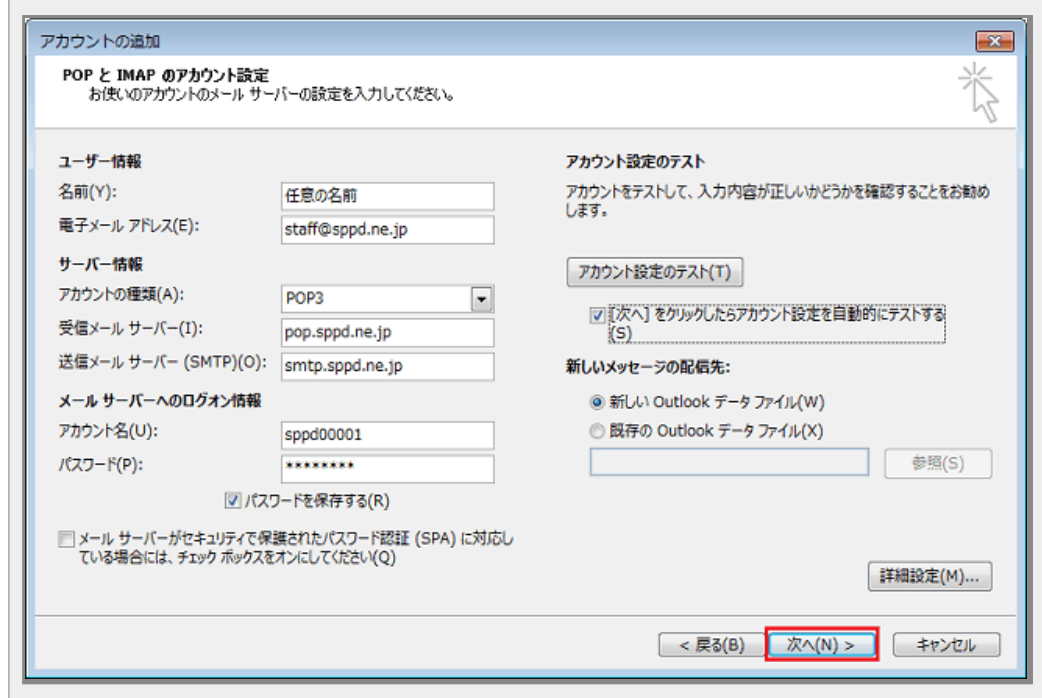
図16.詳細設定



■ 7. アカウント設定変更の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

図17.アカウントの変更



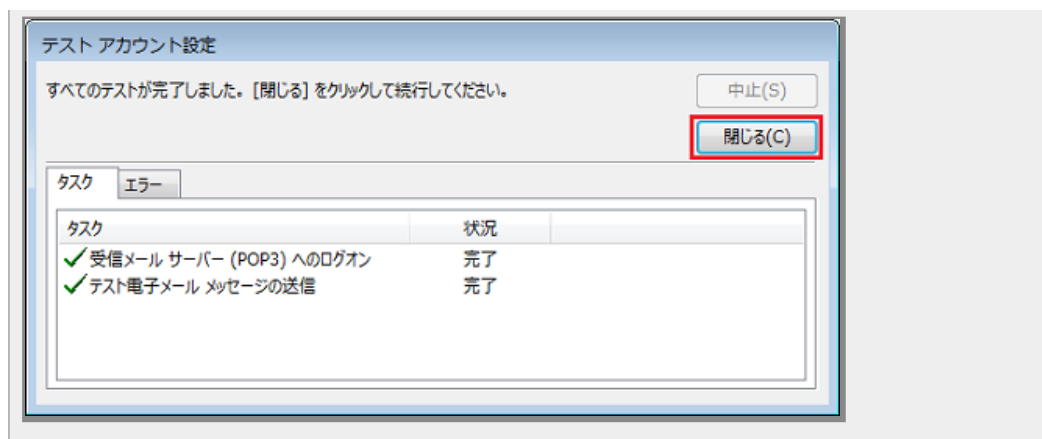
■ 8. 設定したアカウントのテストをします。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストされます。「受信メールサーバー (POP3) へのログイン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら正常にアカウントは設定されております。

「閉じる」をクリックしてください。

※ 状況が「失敗」になる場合はエラー一覧を参考に設定項目を確認し、入力しなおしてください。

図18.テストアカウント設定



■ 9. 以上でアカウント設定の変更は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。

図19.アカウントの作成完了



★ POP over SSL の設定方法 (任意)

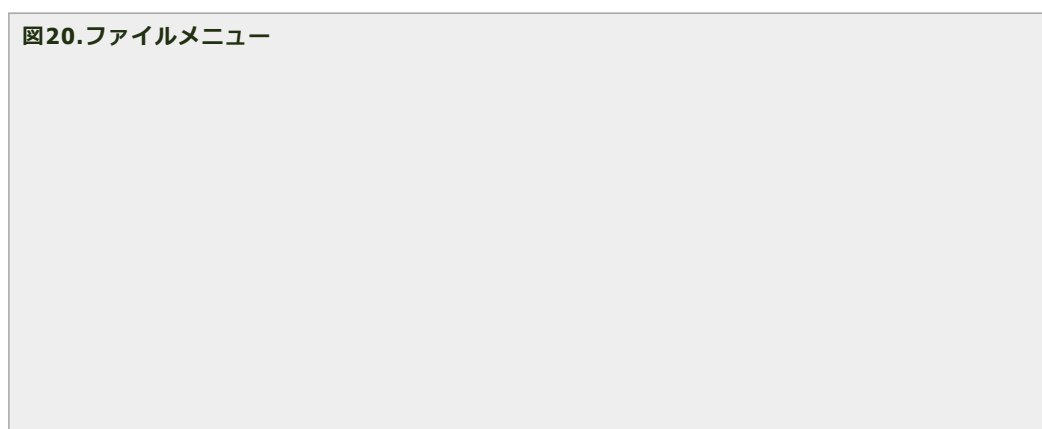
メール受信時の通信を暗号化する「POP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。

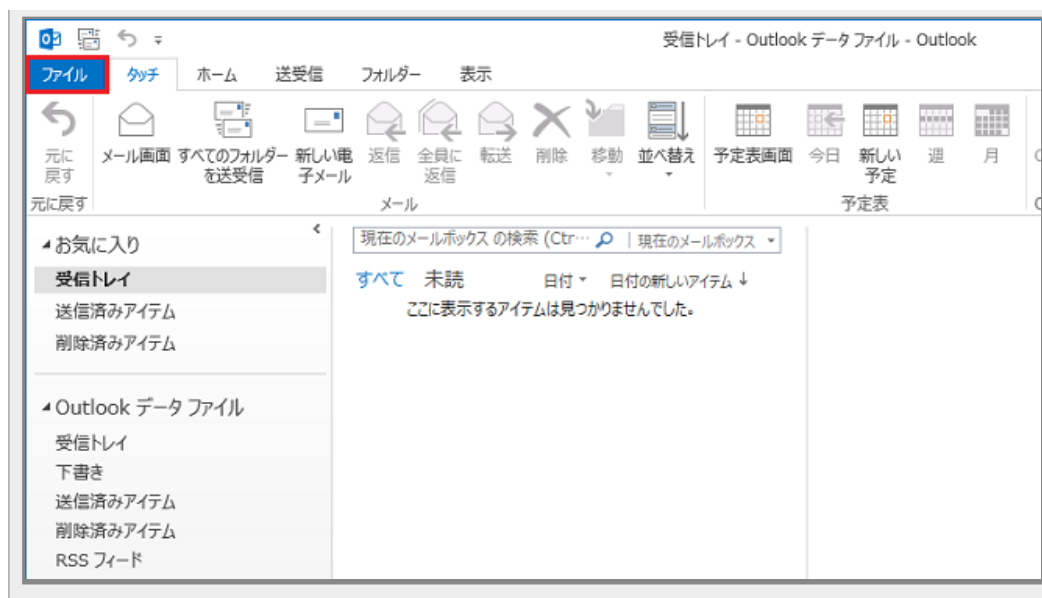
※ ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「POP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

■ 1. 「POP over SSL」を利用する場合の設定

Outlook2013 を起動し、「ファイル」をクリックします。

図20.ファイルメニュー

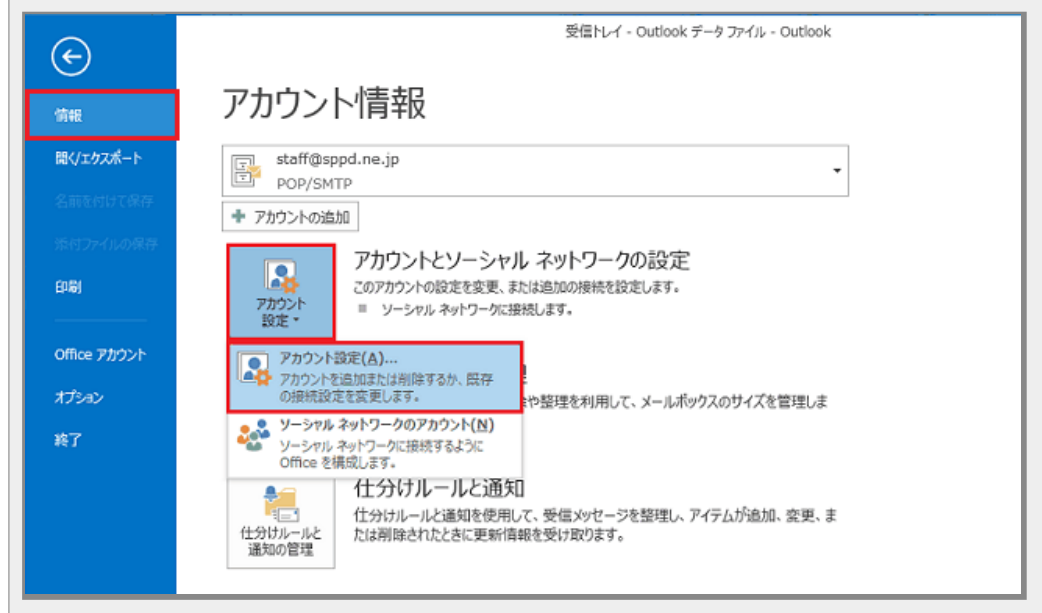




■ 2. アカウント情報画面を開きます。

「情報」→「アカウント設定」をクリックすると下に選択項目が表示されますので、「アカウント設定(A)...」をクリックします。

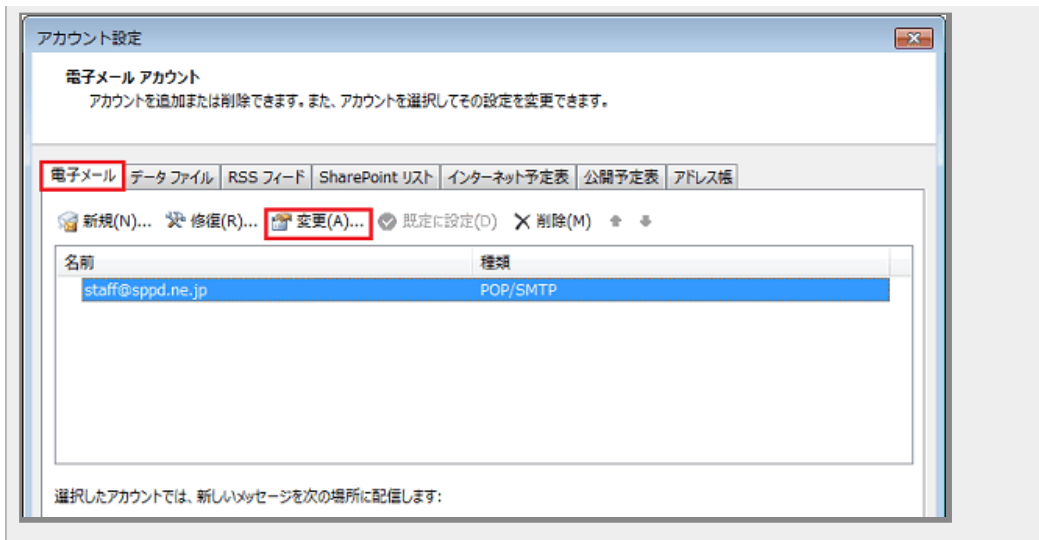
図21.アカウント情報



■ 3. 設定変更するアカウントを選択します。

「アカウント設定」の画面が表示されたら、「電子メール」タブをクリックし、設定変更を行いたいアカウントを選択し、「変更」をクリックします。

図22.アカウント設定



■ 4. 設定内容を確認します。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、「詳細設定」ボタンをクリックします。

図23.電子メール設定

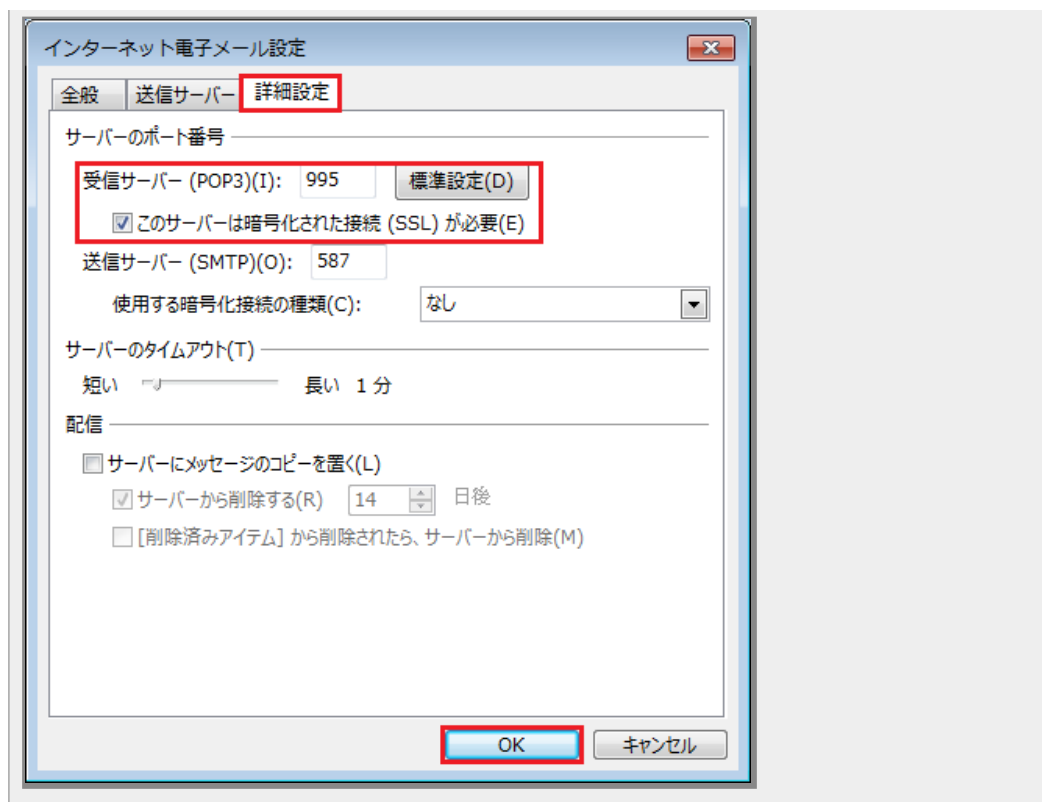


■ 5. サーバーのポート番号の設定を行います。

「詳細設定」のタブをクリックし、「受信サーバー(POP3)」を「110」→「995」に変更します。「このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要」にチェックを入れます。入力が終わりましたら「OK」をクリックし、「インターネット電子メール設定」の画面を閉じます。

※ 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。

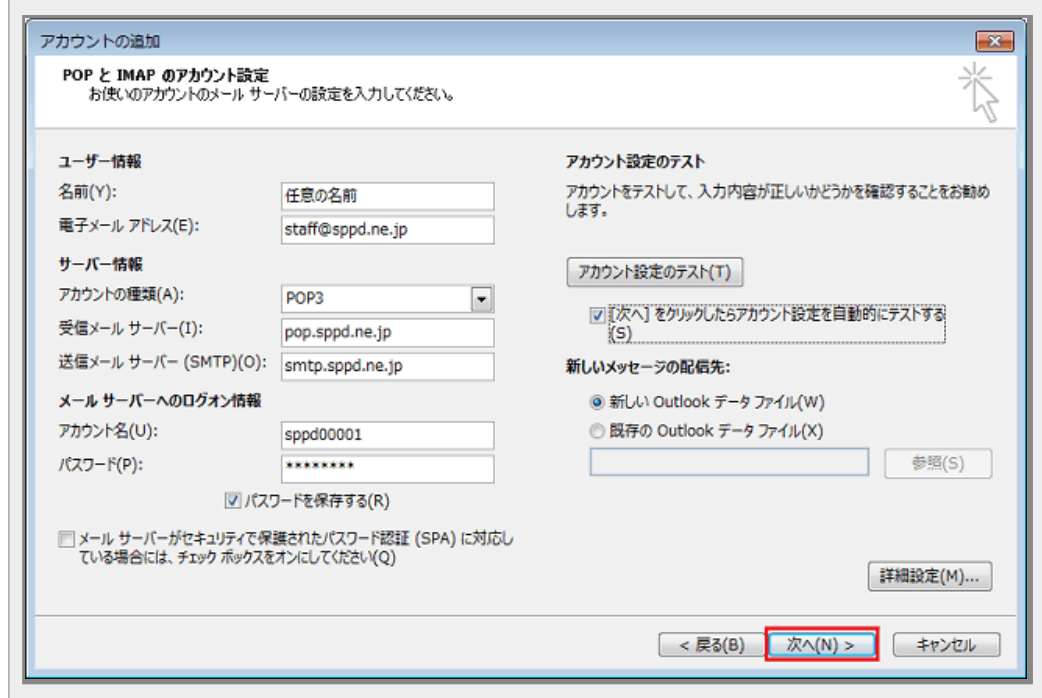
図24.詳細設定



■ 6. アカウント設定変更の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

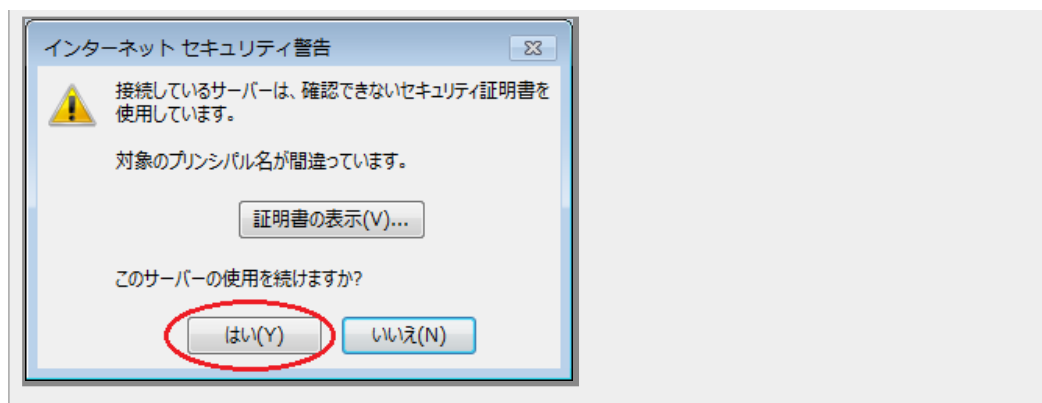
図25.アカウントの作成完了



■ 7. 証明書の警告が表示されます。

下記の警告が表示されましたら、「はい」をクリックしてください。

図26.アカウントの作成完了



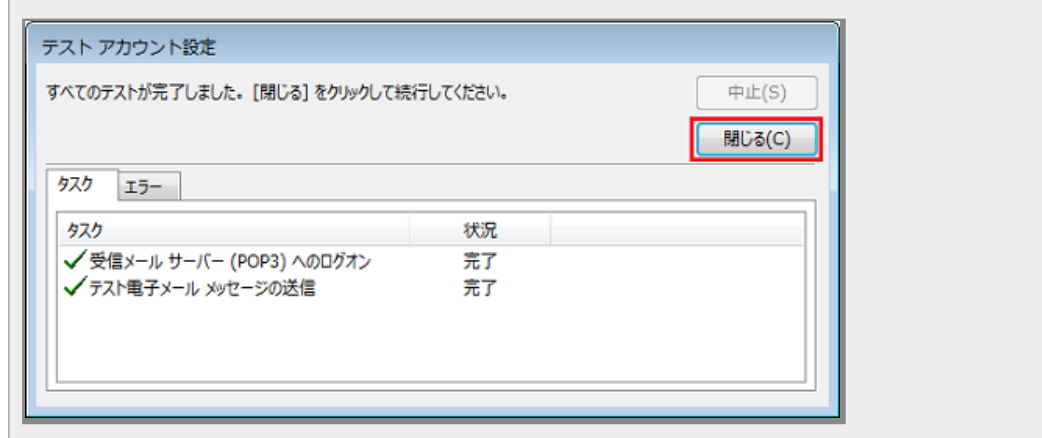
■ 8. 設定したアカウントのテストをします。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストされます。「受信メールサーバー（POP3）へのログオン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら正常にアカウントは設定されております。

「閉じる」をクリックしてください。

※ 状況が「失敗」になる場合は[エラー一覧](#)を参考に設定項目を確認し、入力しなおしてください。

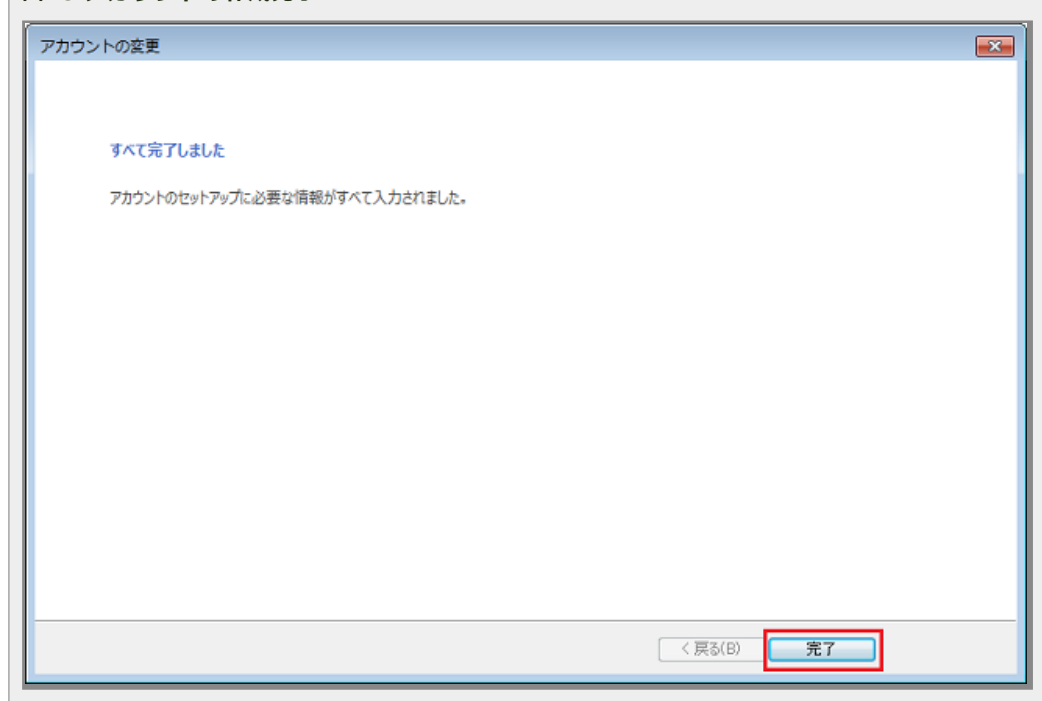
図27.テストアカウント設定



■ 9. 以上でアカウント設定の変更は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。

図28.アカウントの作成完了



■ 10. 証明書の警告の消去方法(共用サーバーご利用のお客様のみ)

POP over SSLを設定しますと、Outlook 2013を起動して1回目のメール受信時のみ証明書の警告が表示されます。共用サーバーをご利用の場合のみ、警告を出さないように設定することができます。専用サーバー・VPS・代理店制度では設定できません。まず、お客様のドメインがどの共用サーバーに属しているかを検索する必要があります。

共用サーバー名が判明しましたら、POP3サーバー名を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更します。

「POPとIMAPのアカウント設定」画面で、「受信メールサーバー」を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更したら「次へ」ボタンをクリックし、テストが完了したら「閉じる」ボタンをクリックしてください。

「アカウントの変更」の画面が表示されたら「完了」をクリックしてください。

※ (画像内「www4.sppd.ne.jp」は、あくまでも例です。お客様によってサーバー名が異なりますのでご注意ください。)

図29.電子メール設定

アカウントの変更

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y): 任意の名前
電子メール アドレス(E): staff@sppd.ne.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(I): www4.sppd.ne.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): smtp.sppd.ne.jp

メール サーバーへのログイン情報
アカウント名(U): sppd00001
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
アカウント設定のテスト(T)
☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする (S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル

※ [POP before SMTP機能]により、POP3によるメールの受信をしてから20分間だけメールの送信が可能ですが、[POP over SSL]での受信動作では送信可能になりません。そのため、メール送信の際には、通常のPOP3で一旦受信を行っていただくか、[サブミッションポート\(587番\)](#)を利用してメールを送信してください。

★ SMTP over SSLの設定方法(任意)

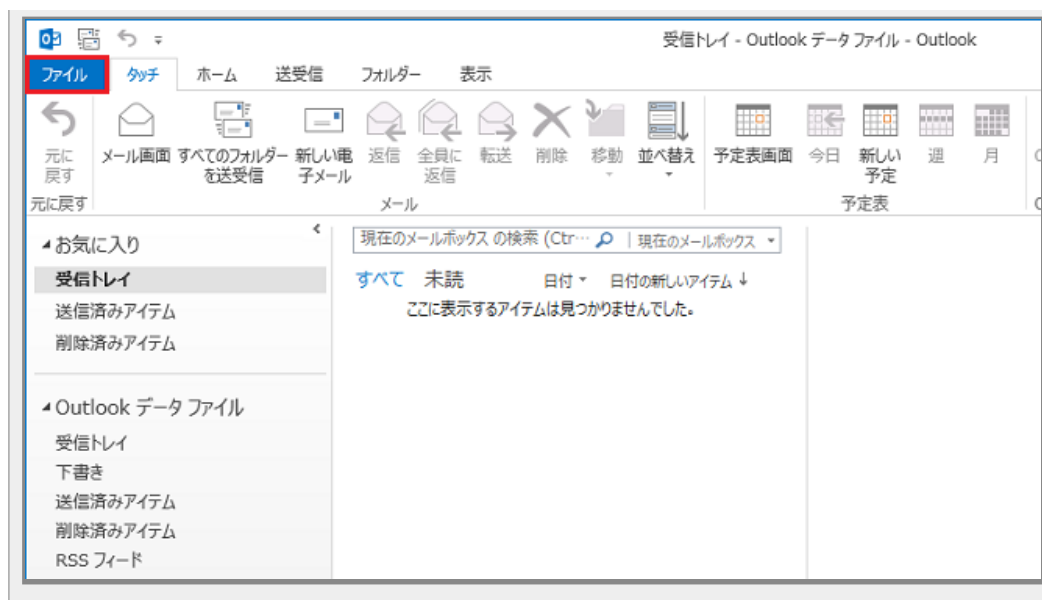
メール送信時の通信を暗号化する「SMTP over SSL」を利用する場合の設定方法をご案内します。

※ ここまでの設定で、通常のメール送受信は可能です。「SMTP over SSL」を利用される方のみ任意で設定してください。

■ 1. 「SMTP over SSL」を利用する場合の設定

Outlook2013 を起動し、「ファイル」をクリックします。

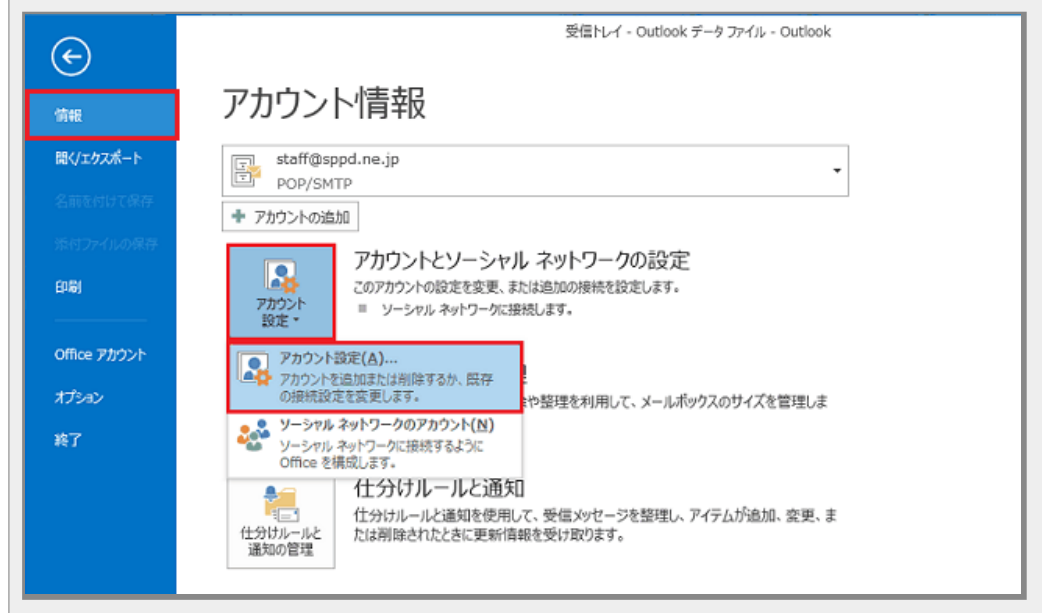
図30.ファイルメニュー



■ 2. アカウント情報画面を開きます。

「情報」→「アカウント設定」をクリックすると下に選択項目が表示されますので、「アカウント設定(A)...」をクリックします。

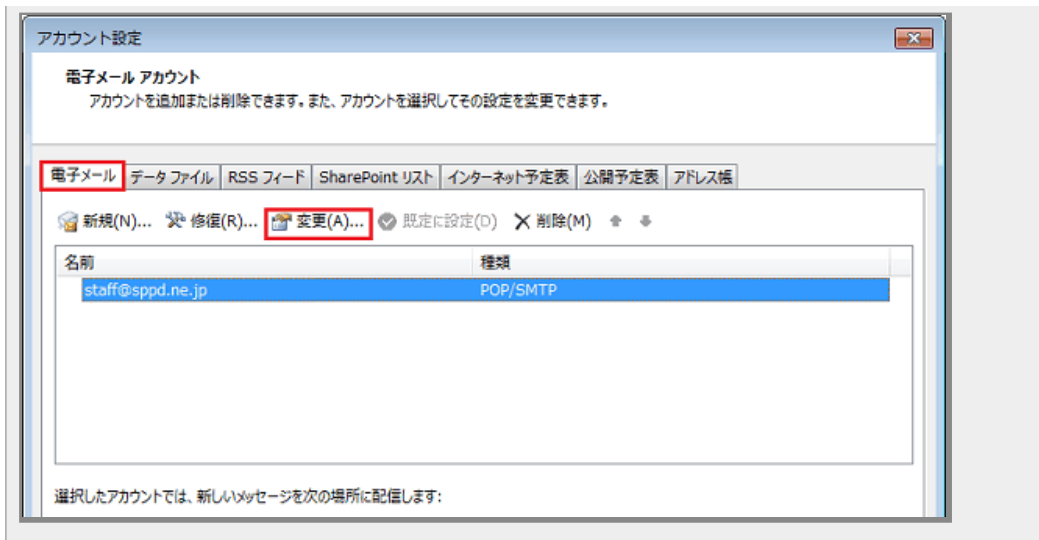
図31.ファイルメニュー



■ 3. 設定変更するアカウントを選択します。

「アカウント設定」の画面が表示されたら、「電子メール」タブをクリックし、設定変更を行いたいアカウントを選択し、「変更」をクリックします。

図32.アカウント設定



■ 4. 設定内容を確認します。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面が表示されたら、「詳細設定」ボタンをクリックします。

図33.電子メール設定

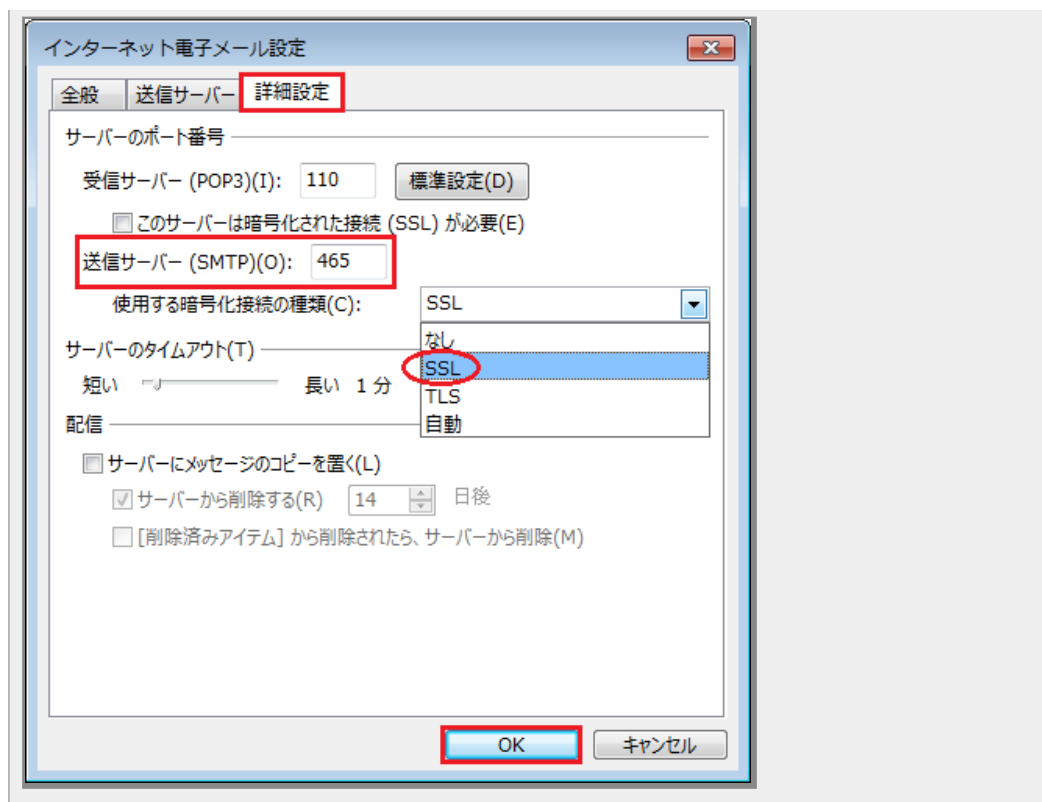


■ 5. サーバーのポート番号の設定を行います。

「詳細設定」のタブをクリックし、「送信サーバー(SMTP)」を「465」に変更し、「使用する暗号化接続の種類」に「SSL」を選択します。入力が終わりましたら「OK」をクリックし、「インターネット電子メール設定」の画面を閉じます。

※ 「サーバーにメッセージのコピーを置く」については、サーバーのディスク容量が有限のためチェックを外してご利用ください。チェックを入れる場合、「サーバーから削除する」の期間をなるべく7日以内に設定頂くようお願い致します。

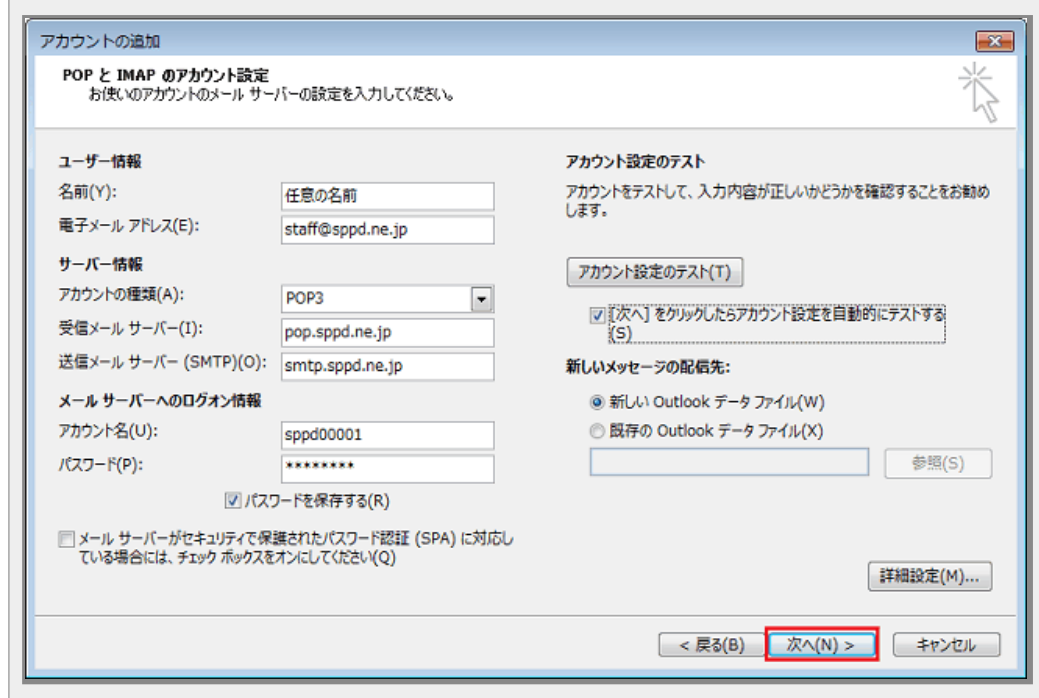
図34.詳細設定



■ 6. アカウント設定変更の完了。

「POPとIMAPのアカウント設定」の画面に戻りますので、「次へ」をクリックします。

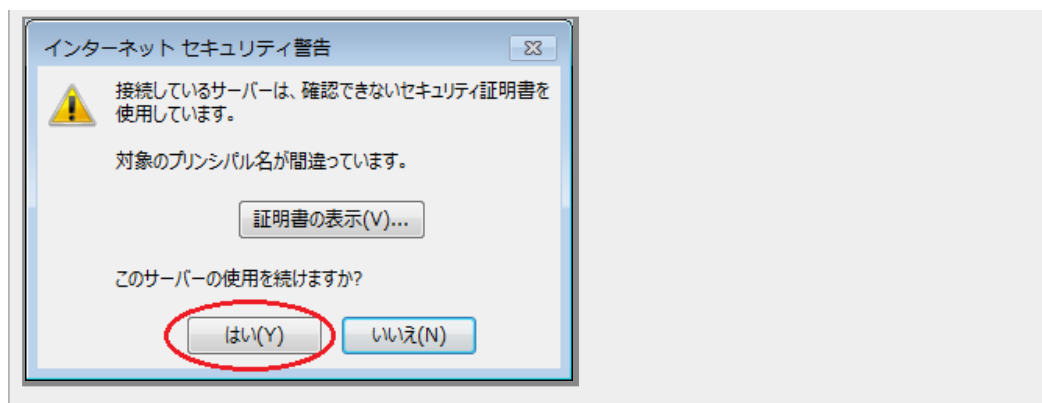
図35.アカウントの作成完了



■ 7. 証明書の警告が表示されます。

下記の警告が表示されましたら、「はい」をクリックしてください。

図36.アカウントの作成完了



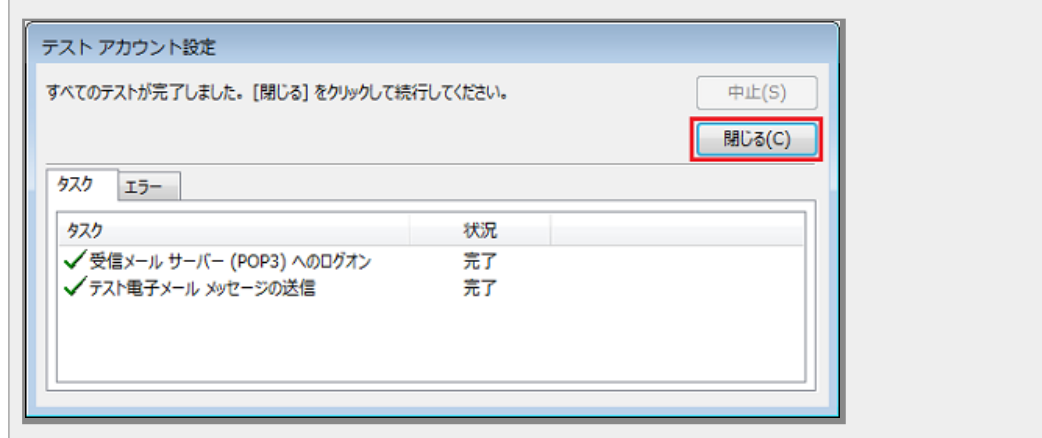
■ 8. 設定したアカウントのテストをします。

「テスト アカウントの設定」の画面が表示され、設定した内容でサーバーに接続できるかテストされます。「受信メールサーバー（POP3）へのログイン」と「テスト電子メールメッセージの送信」の状況が「完了」になりましたら正常にアカウントは設定されています。

「閉じる」をクリックしてください。

※ 状況が「失敗」になる場合は[エラー一覧](#)を参考に設定項目を確認し、入力しなおしてください。

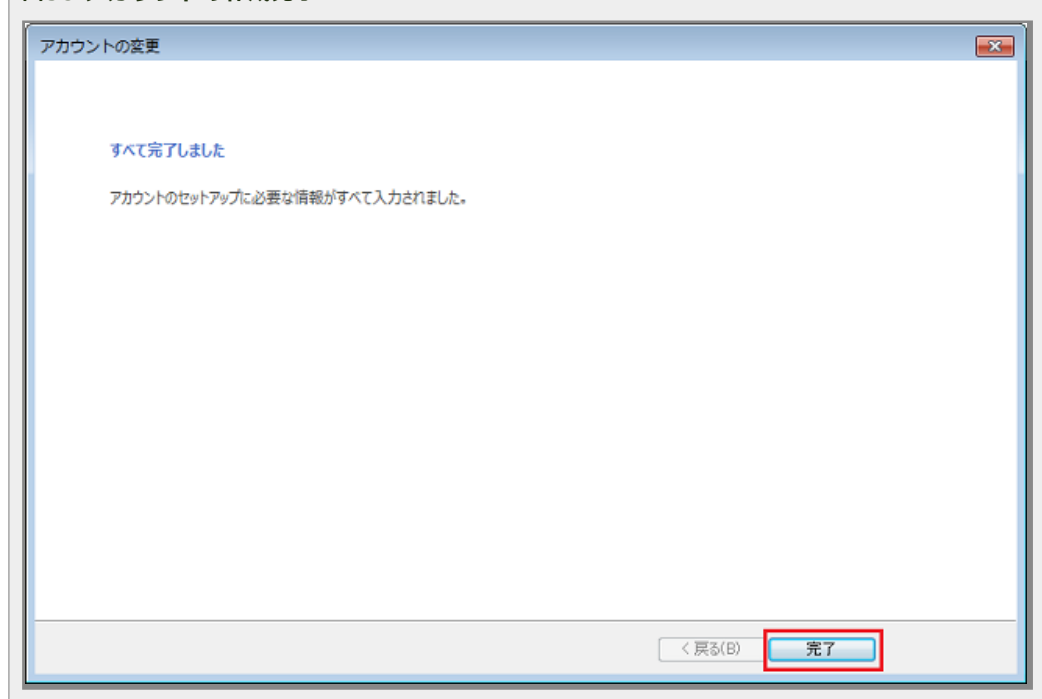
図37.テストアカウント設定



■ 9. 以上でアカウント設定の変更は完了です。

「すべて完了しました」と表示されますので、「完了」をクリックし画面を閉じます。

図38.アカウントの作成完了



■ 10. 証明書の警告の消去方法(共用サーバーご利用のお客様のみ)

SMTP over SSLを設定しますと、Outlook 2013を起動して1回目のメール送信時のみ証明書の警告が表示されます。共用サーバーをご利用の場合のみ、警告を出さないように設定することができます。専用サーバー・VPS・代理店制度では設定できません。まず、お客様のドメインがどの共用サーバーに属しているかを検索する必要があります。

共用サーバー名が判明しましたら、SMTPサーバー名を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更します。

「POPとIMAPのアカウント設定」画面で、「送信メールサーバー」を「共用サーバー名.sppd.ne.jp」に変更したら「次へ」ボタンをクリックし、テストが完了したら「閉じる」ボタンをクリックしてください。

「アカウントの変更」の画面が表示されたら「完了」をクリックしてください。

※ (画像内「www4.sppd.ne.jp」は、あくまでも例です。お客様によってサーバー名が異なりますのでご注意ください。)

図39.電子メール設定

アカウントの変更

POP と IMAP のアカウント設定
お使いのアカウントのメール サーバーの設定を入力してください。

ユーザー情報
名前(Y): 任意の名前
電子メール アドレス(E): staff@sppd.ne.jp

サーバー情報
アカウントの種類(A): POP3
受信メール サーバー(I): pop.sppd.ne.jp
送信メール サーバー (SMTP)(O): www4.sppd.ne.jp

メール サーバーへのログイン情報
アカウント名(U): sppd00001
パスワード(P): *****
☒ パスワードを保存する(R)

☐ メール サーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証 (SPA) に対応している場合には、チェック ボックスをオンにしてください(Q)

アカウント設定のテスト
アカウントをテストして、入力内容が正しいかどうかを確認することをお勧めします。
アカウント設定のテスト(T)
☒ [次へ] をクリックしたらアカウント設定を自動的にテストする(S)

詳細設定(M)...

< 戻る(B) 次へ(N) > キャンセル